

令和7年度 学校評価 結果

4:良くてきた(そう思う)3:できた(だいたいそう思う)2:あまりできなかった(あまり思わない)1:できなかった(そう思わない)

↓平均値(前期:3.25/後期:3.29)に対し、上回った項目(黄色)、下回った項目(緑)

分類		自己評価		前後期の比較増減	改善策 (「後期」教職員アンケートより)	学校関係者評価
		前期	後期			
		平均	平均			
学級経営・教育目標	(1)学校教育目標(自ら学ぶ意欲をもち、心豊かなくましい東っ子)の実現を目指し、学級(学年)経営や学習指導、その他の教育活動に取り組んでいる。	3.33	3.39	↑	・児童の実態把握に努め、学習活動等に活かせるようにする。 ・意欲的に学ぶような授業を行うため、教材研究や授業準備を丁寧に行う。	+0.06 適正である: 67% 概ね適正である: 33%
	(2)児童は、学校教育目標の目指す児童像(進んで学びよく考える子・きまりを守り助け合う子・最後までがんばる子・明るい元気な子)に育っている。	3.13	3.19	↑		+0.06
	(3)校長の示した教師の行動指針~礼を正し、場を清め、時を守る~を意識して日々の教育活動に取り組んでいる。	3.44	3.38	↓	・先生同士の挨拶が少ない(小さい)ため、出勤時や廊下ですれ違ふときの挨拶は、進んですべき。授業等の開始時刻を守る意識も、もっと高めなければ、子供たちにも身につかないように感じる。(特別な場面を除く)	-0.06 ・(全体を通して)取りまとめが見やすい。 ・先生方の意見がよく出ている。 ・話し合った結果によって、新しい行動が期待できる。
	(4)教職員それぞれが力を発揮し、各分掌(役割)や各学年が連携して組織的に学校運営にあたっている。	3.39	3.23	↓	・特定の職員に分掌が偏っている。 ・分掌に偏りがある。学年主任も含めて主任の教をならし、一つ一つの仕事の質を上げる。 ・分掌や学年等の役割だけでなく、キャリア段階に応じた役割も必要と感じる。働き方改革と言われればそれまでだが、若手のがむしやら働き方をベテランがフォローすることも、組織的な働き方なのは?と常々感じる。	-0.16
学習指導・学力向上	(5)教材研究・板書計画を適切に行い、意図的・計画的な指導を実施している。	3.21	3.32	↑	・毎時間の板書計画を計画しきれていないことや児童の考えを深める発問が考え切れていないため、発問をより具体的に考えていくことや、教材研究をより丁寧に行い、児童が「分かった」と思えるようにしていく。	+0.11
	(6)児童の実態に基づき、繰り返し指導や補充指導等を充実させ、基礎・基本の定着を図っている。	3.04	3.29	↑	・「わからない場合は聞きにくるよう」という声掛けで止まってしまっていることや、机間指導の中でしか児童の理解度を見れていないことがあげられる。	+0.25
	(7)授業時数を的確に管理・確保し、年間指導計画通りに実施できている。	3.17	3.10	↓	・時数の見直しを持ち、計画的に授業を実施する。 ・行事を精選する必要があると思います。または、行事のために他の授業時間をあてることがないように、内容をシンプルにしたり、保護者に協力してもらおう部分を増やしたりすると良いと思います。 ・時数時間が足りない。 ・音楽会練習、音楽会の延期があり、単元や教材の入れ替えを行った。 ・自身の病欠、閉鎖等で時数が確保できず、2学期の図工1単元を3学期に実施することになってしまった。余裕をもって授業ができるように、準備等進めていきたい。 ・体育の時間が予定通りの時間を確保できない時がある。→年計の見直し(単元を減らす、配置変更)などが必要と感じている。 ・授業計画を立てていても、1時間の中で授業が収まりきらないことがあり、伸びてしまった授業が何度かあったため、1時間の授業を計画しているものは、1時間のなかで終わらせるようにしていく。 ・年度当初に計画のない行事等が入り込んでいる。学年によって差がみられる。	-0.07 適正である: 50% 概ね適正である: 50%
	(8)児童が互いの良さを頑張り認め合い、思いやりの心をもって生活できるように指導している。(自己有用感を味わわせる学級づくりに努めている。)	3.29	3.35	↑		+0.06
規律ある態度の育成・心の教育	(9)児童が約束やきまりを守り、けじめをもって学習したり、生活したりできるように指導している(整理整頓、名札着用・廊下歩行・靴のかかと揃え・時間、等)	3.25	3.26	↑	・教職員、児童、保護者間で、整理整頓、名札、廊下歩行、靴のかかとそろえ、時間についての目標を共有できる手立て(HP、学校たより等)の発信、学校全体での活動)を講じていくよと思っています。1度に全部は難しいので、学期や月ごとに取り組めるとよと感じています。 ・廊下や教室内にゴミや落とし物が落ちているとき、見て見ぬふりをする児童が多い。「私のじゃないから」は現代の子供たちからよく聞く言葉ですが、きれいな環境を保つためには、指導したり、教師が背中を見せたりする必要があります。 ・教員の意識を統一する。下校時のマナーが悪いと思う。	+0.01 ・子供の声を聴く「子どもアドボカシー」の視点、取組も検討していただきたい。(規律や挨拶が形式的、管理的なものにならないため)
	(10)児童があいさつや返事、正しい言葉遣いができるように指導している。	3.38	3.29	↓	・繰り返し伝えることができていないことがあるため、何度も繰り返し伝え、教師が手本を見せていくようにする。 ・子供たちが先生に対し、「友達ことば」で話しかけることが多いように感じます。(特に低学年)社会のマナーでもあるし、担任対児童のよい関係を築くには、指導していくべきだと思います。 ・継続した指導。	-0.09
	(11)児童に規則正しい生活やバランスのとれた食事の大切さを理解させ、健康な生活ができるように給食指導をしている。(早寝・早起き・朝ご飯の声かけも含む)	3.42	3.39	↓		-0.03 適正である: 67% 概ね適正である: 33%

全・体力向上	(12) 個別登校や普通の下校等、児童が安全についての意識をもち、自ら安全に生活するように指導している。	3.29	3.39	↑	・学校では繰り返し指導をしているが、家庭ではあまり話題にされていないという回答が多かったので、登下校時の安全指導について学年だよりや学級懇談会等を利用して家庭に協力を要請する。	・「たくさん食べたで賞」などが、「食べなければいけない」というプレッシャーにならないよう、配慮して指導してほしい。	+0.10
	(13) 児童の体力が向上するよう、指導・工夫している。(体育授業・ぐんぐんタイム・外遊び奨励)	3.21	3.26	↑	・声掛けする。		+0.05
研修・資質の向上	(14) 研修に意欲的に取り組み、自らの資質を高め、指導力の向上を図っている。	3.17	3.39	↑	・研修内容の改善。研修をしただけになっている。	適正である：83% 概ね適正である：17%	+0.22
	(15) 自身の指導力向上に努めていることにより、児童の成長(学力・生活力の向上等)に成果があらわれてきている。	3.08	3.23	↑		・若手の先生方には、研修の意義などを、わかりやすく説明しながら進めるとよい。他の現場でも、様々な工夫を凝らして、若手を巻き込んでいる。	+0.15
環境整備	(16) 校舎内外の教育環境の整備(保健・安全・美化)に努めている。	3.25	3.32	↑			+0.07
	(17) 児童の無言清掃、清潔・整頓を保つよう指導している。	3.17	3.29	↑		適正である：67% 概ね適正である：33%	+0.12
	(18) 教室や廊下等に適切な掲示を行い、学習環境の整備に努めている。	3.25	3.26	↑			+0.01
	(19) 職員室の机上や学年、校務分掌の棚等の整理整頓に努めている。	3.33	3.32	↓	・定期的な整理整頓		-0.01
学校・保護者や地域との連携・開かれた	(20) 学校は、方針や取組、児童の様子などを保護者や地域へ情報を十分に発信している。	3.50	3.35	↓	・学年の活動をHPにアップすることができなかった。役割分担を検討したい。		-0.15
	(21) 学校は、保護者や地域住民の連携協力を仰ぎながら、児童の登下校の安全や教育活動の充実、環境の整備に取り組んでいる。(保護者、学校応援団の活用・充実等)	3.21	3.42	↑			+0.21
	(22) 保護者や地域住民との連携を深めるような行事等に積極的に参加したり、取り組んだりしている。	2.88	2.94	↑	・家庭の都合で、東町祭りや資源回収等に参加できなかった。事前に相談し休日でも参加できるように努める。(2月の駅伝は参加予定) ・申し訳ないが、体力的・時間的にきつい ・そのようなチャンスはなかなかないため。また、地域の行事等は、たいがい週休日等のため。 ・行事を一通り把握できるようにする。予定が組みやすい。	適正である：67% 概ね適正である：33%	+0.06
	(23) 学校は、行事や日課の精選や職員の業務改善に努め、全職員が働きやすい環境づくりをしている。	2.96	3.13	↑	・一部の職員に負担が偏っている。校務分掌や校外の研修(10年研などの研修)を加味していただけると幸いです。その他の取り組みは大変成果があるとおもっております。 ・2学期に行事が集中していたので、もう少し分散していただけるとありがたいです。 ・行事や業務を精選する。		+0.17
風通しのよい職場づくり・負担軽減策	(24) 学校は、計画予定を事前に示し、全職員が見通しをもって業務遂行ができるように努めている。	3.29	3.42	↑			+0.13
	(25) 管理職、他学年やブロック、学年内、教務や事務室、支援員、用務員が日頃からコミュニケーションを図っている職場である。	3.42	3.39	↓	・事務室が毎日暖かいです。		-0.03
	(26) 会議、各種委員会の回数、時間設定は適切である。	3.08	3.10	↑	・生徒指導委員会が毎回オーバーしてしまふ。報告は文書を読めばいいのでいらないと思う。 ・課題研の時間が無いのが気になります。	適正である：50% 概ね適正である：50%	+0.02
	(27) 時数削減(とくの日・低学年1コマ減)は、業務の負担軽減(教材研究や学級事務の時間確保等)として有効である。	3.13	2.90	↓	・時数が確保されていない状態でのとくの日は負担がある。また、子供にとってこちらが意図しているような時間の使い方をしていないと感じる。 ・仕方のないことだが、空き時間の自習補欠など3年生以上の負担が大きいのと感じている。 ・とくの目をなくす ・体育を6時間目に設定してしまった関係上、どうしても体育を行う時間がなくなってしまい、他クラスにご迷惑をおかけしてしまっている。時数確保のためにも出入りの授業は午前中に移動させ、徳の日は5時間にする。 ・その日の午後は研修等入らずに完全フリーになるとさらに業務改善になると思います。 ・結果として、時数が足らずに授業に余裕がなくなります。知識埋め込み型の授業にせざるを得ない単元が出てきてしまいます。	・教職員同士が、本音で意見を出し合っている様子が伺える。改善できたら、より良くなる。	-0.23
	(28) 通知表の2期制は、業務の負担軽減(教材研究や学級事務の時間確保等)として有効である。	3.75	3.77	↑			+0.02
	合計値	91.02	92.07	↑			
平均値	3.25	3.29	↑				

3.27

その他

- ・自習の補充が多いと思う。空き時間をあてにして1週間の予定を組んでいるので仕事ができない。仕方のないことだとは思いますが改善してほしい。
- ・学校内で同一歩調で指導を進めていくためにも年次の若い先生方へのフォローを定期的にしてほしい。その時間を予定に組み込んだらどうか？
- ・学年で対応することが多くて学年主任として対応しきれなかった。
- ・式典や集会での、体育館からの帰りは、「高学年が後ろのドア→西階段」「低学年が前のドア→東階段」で帰れば、2列で同時に帰れると思います。その通りに帰ると、教室前で交差することにはなりますが、混雑は減らせるのではないのでしょうか。
- ・グループ給食がやりたいです。給食を楽しく食べることも給食指導の一環だと思っています。もちろん、感染症等の時期やリスクも考慮しながら
- ・児童のあいさつが少なく寂しいです。それ以前に、職員間のあいさつが少ないこと(出退勤時等)も寂しいです。
- ・課題研の時間が無いのはいかにがなののかと感じています。求められている教育が急速に変化している現代だからこそ、研修をしないと追いつけないと感じます。

教職員による改善協議会にて

【他項目に比べ、大きく下回っている項目について】

◎「(3)校長の示した教師の行動指針～礼を正し、場を清め、時を守る～を意識して日々の教育活動に取り組んでいる。」

- ・出勤時またはすれ違うときの挨拶の声が小さい。
- ・子供がいる時間は教員同士は「こんにちは」「おはようございます」で統一する。
- ・業務時間以外は「お疲れ様」で統一する。
- ・教員の挨拶の評価を児童にでもらう。(学校評価の項目に入れる)
- ・挨拶をする場所、時間の共通理解を図る。(お話し会・清掃の時間など)
- ・職員室の扉に挨拶を呼びかけるポスター貼る。
- ・倫理確立委員会での振り返りの欄に、「気持ちの良いあいさつができたか」の項目を入れる。
- ・業間休み、昼休みに教員があいさつ運動に参加する。
- ・低学年、中学年、高学年の挨拶の目標を見える化する。

◎「(4)教職員それぞれが力を発揮し、各分掌(役割)や各学年が連携して組織的に学校運営にあたっている。」

- ・特活、体育部会を開いているが、その中の話合いを集約するのが大変だと思う。もちろん部のメンバーも動いているが、どうしても主任がすべてを背負っている。
- ・部長、副部長という役割よりも、部長2人体制(新旧の部長)のような形にするのも良いのではないかと。前年度、今年度、来年度を見越すような形。
- ・計画立てて仕事をして、分散していく。
- ・分掌のチームがA、B、Cに分けられていることは良い。協力してできる土台になっている。大規模校の強みであると思う。

◎「(7)授業時数を的確に管理・確保し、年間指導計画通りに実施できている。」

- ・体育館や校庭の使用が行事等でできないことが多く、体育の授業数が確保できなかった。
- ・体育館の使用をしないときに、わかるようなシステム(ホワイトボードの使用など)があると、足りないときの補填ができる。
- ・低学年(1,2年生)の体育館授業を2クラス合同(TTなど)にして、体育館の空気を増やす。
- ・図工室が混み合う時期があるので、年間指導計画で確実に図工室が必要な単元を振り分ける。
- ・レギュラーな行事が多かった。(年当初になかった行事の廃止)
- ・音楽会の児童の部、保護者の部の2回は必要か?
- ・年度当初の児童の情報を引き継ぐ際に、行事についても伝えておく。(この時期にこんな行事があったなど)

◎「(10)児童があいさつや返事、正しい言葉遣いができるように指導している。」

- ・1年生の最初の関係づくりでは、柔らかい言葉で接したほうが緊張せずに済む。
- ・友達ことばというよりは、母と子のような会話になっている。
- ・まずは授業中のやり取りで言葉遣いの指導をする。
- ・年度初め、学期はじめ等に教師と児童の立場を明確にする。それを教師も忘れないように意識する。
- ・お願いする場面や報告する場面での言葉遣いの指導の徹底。「お願いします」など
- ・特性のある児童は、特に丁寧な話し方のほうが指示が入りやすい。

★言葉遣いが崩れがちな場面を共有して、どこまで指導する場面なのかの基準を合わせる。

◎「(11)児童に規則正しい生活やバランスのとれた食事の大切さを理解させ、健康な生活ができるように給食指導をしている。(早寝・早起き・朝ご飯の声かけも含む)」

- ・1年生、1学期のときよりもよく食べるようになってきている。
- ・「たくさん食べたで賞」といった動機づけ◎
- ・おかわりが決まっている人になっている。
- ・おかわりのルールの統一。
- ・教務視点から見ると、入るクラスによっておかわり等のルールが違う。
- ・学年ごとに統一しておく必要がある。
- ・準備・片付けの速さも、食べる時間の確保につながる。
- ・歯磨きの時間の確保。
- ・食べたい量と食べられる量の理解。
- ・残食量が多い、それに対する指導、盛り切り等の手段も改善する必要。
- ・教室の配置を話し合いの隊形(四角)にして食べる。たまには。
- ・普段喋らない子どもしゃべれるように席の配置を考える。
- ・交流給食を継続してほしい。

◎「(20)学校は、方針や取組、児童の様子などを保護者や地域へ情報を十分に発信している。」

- ・学年だよりの裏側に、先月の活動の様子を載せることを共通にする。それをHPにも、そのまま載せる。
- ・HPづくり、発信を支援員さんにもお願いする
- ・学校公開の時間を増やす。
- ・給食試食会のように、清掃を保護者と一緒に行いながら、普段の姿を見てもらう。

◎「(25)管理職、他学年やブロック、学年内、教務や事務室、支援員、用務員が日頃からコミュニケーションを図っている職場である。」

- ・自習の補充をするときは、授業ではなく、自習監督にしていきたい。(予め、プリント等を用意しておいていただければ、自分の仕事もできるため)
- ・教務の数を増やしていただけるのが一番難しい。
- ・調整は長期休みにも使えると有り難い。(「今週中に消化」は厳しい)

◎「(27)時教削減(とくの日・低学年1コマ減)は、業務の負担軽減(教材研究や学級事務の時間確保等)として有効である。」

- ・行事によって時教が足りなくなる
⇒学校の行事と学年の行事の見直し(時期や本当に必要か)
- ・音楽会は内容を検討しない限り、時教の変更が難しい
⇒音楽週間にする(英語、道徳のように)、合唱のみにする、学年ごとに発表する(月ごとに)
- ・音楽鑑賞会は年間指導計画に入れ、音楽として行う
- ・運動会の表現の有無、持久走大会が必要か
- ・学年の行事の必要性

○カリキュラム・マネジメント

- ・教科横断的な指導(国語と総合、図工と総合など)
- ・教科担任制をどの学年でも進んで行う
⇒教材研究を減らす
- ・学区編成を考えると(特別教室のやりくりが難しく、教科担任性がスムーズにできない)
- ・徳の日を5時間にする。もしくは5時間を2回取り入れる。
- ・徳の日の午後は、研修を入れない
- ・週に1日は、研修や会議がない日を作る